

高速道路ネットワークの整備による県内産業・観光の活性化

— 東関道と圏央道の整備状況と整備効果 —

高規格幹線道路整備状況図



○東関東自動車道水戸線（東関道）

<機能・役割>

- 北関東方面との連携強化
- 茨城空港、成田空港を結び他圏域との交流促進
- 茨城港、鹿島港を結び輸送利便性の向上 など

<整備状況>

- 2018年2月鉾田IC～茨城空港北IC間が開通
- 残る潮来IC～鉾田IC間の開通に向け事業中

○首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

<機能・役割>

- 首都圏の道路交通の円滑化
- 災害時の緊急輸送路・代替路の確保
- 沿線の地域の活性化 など

<整備状況>

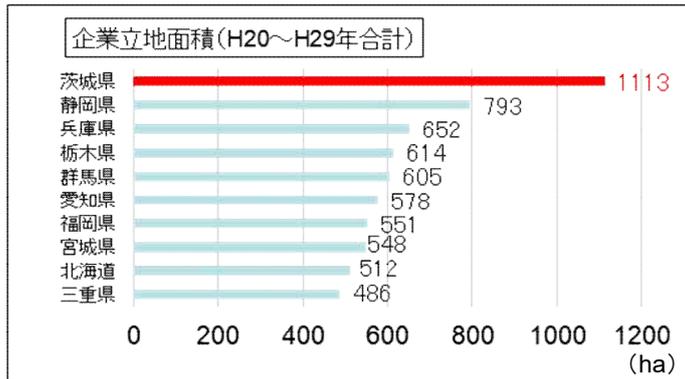
- 県内区間全線供用済み（暫定2車線）
- 4車線化事業中
(2022年度から順次, 2024年度全線供用予定)

高速道路の整備効果

東関道・圏央道の整備により、茨城県の産業・観光がさらに盛り上がっています！

茨城県の産業立地は全国トップクラス！

首都圏をはじめとする他圏域とのアクセス性の向上により、茨城県の企業立地の拡大に繋がっています！



※出典：工場立地動向調査（経済産業省）

海外から茨城県への注目が高まっている！

県内高速道路の整備が進み、アクセス性の向上により、外国人観光客を対象とした周遊ツアーの増加に寄与しています！



※出典：海外からの茨城県周遊ツアー催行状況について（茨城県）

今後の東関道の開通、圏央道の4車線化によりさらなる整備効果の拡大が期待！